

創業支援室  
創業・起業相談  
▼  
わたなべ英語塾

学び、そして学校への  
苦手意識に共感  
かつての自分の目線に  
立った導き方を



「わからない」に  
とことん寄り添う  
授業が特徴



わたなべ英語塾

代表  
渡部 結記子 Yukiko Watanabe  
〒010-8572  
秋田市山王三丁目1-1  
秋田県庁第二庁舎3階  
創業支援室  
TEL:080-2035-0610  
E-mail:capricornthemoon  
@gmail.com  
<https://akitaeigoschool.jimdofree.com/>

▶活用事例

創業支援室の提供  
創業・起業相談

創業者や新事業分野進出を目指す企業に事務スペース(創業支援室)を提供するとともに、入居者が抱える様々な課題の解決をサポートします。

[お問い合わせ]  
総合相談課  
TEL.018-860-5610

苦手な気持ちに寄り添った教え方を

現在、創業支援室に入居している渡部結記子さん。2年ほど前に活動の拠点を求めてインターネットで検索し、あきた企業活性化センターの制度を知った。「社会に出て、一般企業で働いた経験もあるのですが、自分は組織に向いていない人間だと感じていました。いつか個人で起業ができたらと漠然と考えていました。私は中学時代英語以外の教科が全部苦手でした。もっとわからない立場に立って真剣に丁寧にわかりやすく教えてくれる先生がいたらな、と感じていました。大手の塾の講師や家庭教師などの経験を経て、かつての自分が考えていたような先生になろうと思うようになったんです。実際、塾で複数の生徒から、私の教え方がわかりやすいと言ってもらえる機会があったのも、後押しになったかもしれません」。

自分も「不登校」になる要素があった

渡部さんの英語塾は、個別の指導以外にも特徴がある。それが「不登校児童生徒」も対象として

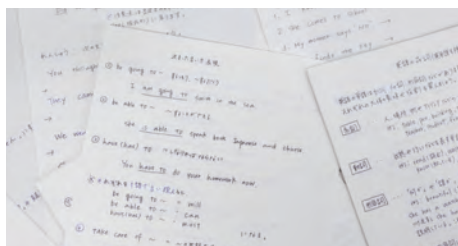
いることだ。

「コロナ禍に秋田市のNPO法人の活動に参加し、ボランティアで無料塾の講師を務めました。それがきっかけとなり、同じ法人が運営するフリースクールもお手伝いさせていただきました。家族や貧困、その他さまざまな理由で学校に行けない子どもがいます。思い起こせば、自分も不登校になる要素は持ち合わせていたと感じています。英語学習支援を通して、それぞれのペースに合った社会との繋がり方をお手伝いできればと思います」。

創業支援室を利用することでのメリットをお伺いした。

「センターがすぐ下のフロアにあるので、気軽に職員の方や、よろず支援相談員に相談できる環境なのありがたいです。事業を始めたい人にとっては、本当に心強い支援だと思います」と渡部さん。

現在はWebサイトを改修中。ターゲットを定め、求めている人に対する周知を強化していく予定だという。



生徒の特性、理解度に応じてテキストを手作りして授業を行っている。



この日はWebサイトの内容を改修するため、よろず支援相談員と打ち合わせを行った。



短大で英語を学び、2年間アイルランドでの語学留学の経験を持つ。